

博士論文の審査結果の要旨

専攻	保健医療学	分野	看護学
学籍番号	—	院生氏名	石村珠美
通学キャンパス	—		
論文題目	幼児期の医療的ケア児を育てる母親のプロダクティビティ特性の探究		
審査結果 (枠で囲む)	合格		不合格
<審査結果の要旨> 1. 主論文 1) 研究の概要 (1) 研究の意義・目的 : 本研究の目的は、 <u>幼児期の子ども</u> の <u>母親のプロダクティビティ尺度</u> (以下「PMYCsacle」) の開発と検証、 <u>関連要因</u> の検討を行い、 <u>幼児期の医療的ケア児を育てる母親のプロダクティビティ</u> (以下「PMYC-M」) 特性を明らかにすることであった。本研究の意義および新規性は、 <u>医療的ケア児の母親のプロダクティビティ</u> (以下「PMYC」) 特性に着目し、まずその評価ツールとして <u>幼児の母親の PMYCsacle</u> 開発に取り組み、その後それを用いて、 <u>幼児期の医療的ケア児の母親の PMYC-M</u> 特性を明らかにしたことであった。 (2) 方法・結果・結論 本研究は、① <u>幼児期の医療的ケア児を育児する母親に対する PMYC モデルの有用性の検討</u> ② <u>幼児期の子どもを育児する母親の PMYCsacle の開発と関連要因の検討</u> ③ <u>幼児期の医療的ケア児を育てる母親の PMYC-M 特性の検討</u> の3段階で実施された。 ①は、 <u>医療的ケア児を育てる母親へのインタビュー調査</u> ②は、 <u>尺度開発に向けた幼児期の子ども</u> の母親を対象とする Web 調査を用いた <u>尺度開発</u> ③は、②で尺度開発時に用いたデータを <u>医療的ケア児の母親群と非医療的ケア児育児の母親群に分け分析</u> し、 <u>医療的ケア児の母親の PMYC-M 特性を明らかにした</u> 。 (3) 結果・結論 ①まず <u>母親の PMYC モデルの有用性を見出した</u> 。 ②それを測定する尺度として <u>PMYCsacle 開発</u> を行い、 <u>信頼性と妥当性を確認した</u> 。 ③尺度開発時に得たデータを用いて、 <u>幼児期の医療的ケア児の母親と非医療的ケア児の母親の PMYC-M 特性について比較した結果</u> 、 <u>医療的ケア児の母親が有意な PMYC-M 特性を示すことが明らかになった</u> 。 これらより、 <u>PMYC-M への直接影響を考えた「母親の健康状態」「親の役割認識」「周囲のサポート」の3側面に着目した看護介入への提言</u> を行った。 2. 審査経過 : 第1回審査会を2023年12月12日に開催し、その結果論文の一貫性を高めるための修正を求めた。12月26日修正論文が提出され、その後メール審議にて適切に修正されたことを認めた。 3. 口頭試問の結果 : 審査員の質問に対して、適切な回答がなされた。 4. 合否判定 : 上記の結果から、審査員全員は本論文が著者に博士(看護学)の学位を授与するに十分な価値があるものと認めた。			
論文審査担当者	主 査	野呂 千鶴子	
	副 査	石山 麗子	
	副 査	小島 加代子	